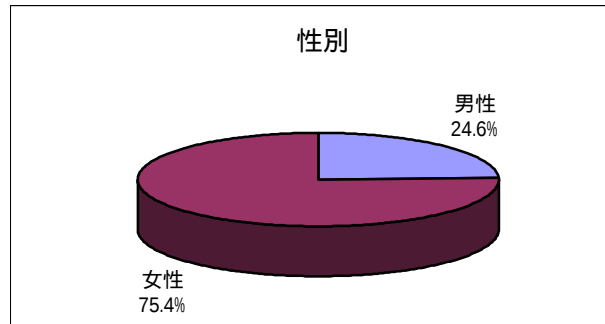


- 調査対象：講演会参加者（57人）
- 調査方法：講演終了後、会場にて回収
- 有効回答数：57件 回答率：100%

1. 参加者の属性について

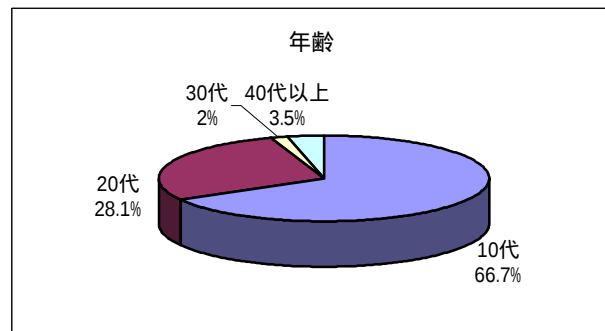
性別

	性別	人数	%
1	男性	14	24.6%
2	女性	43	75.4%
3	無回答	0	0.0%
	計	57	100.0%



年齢

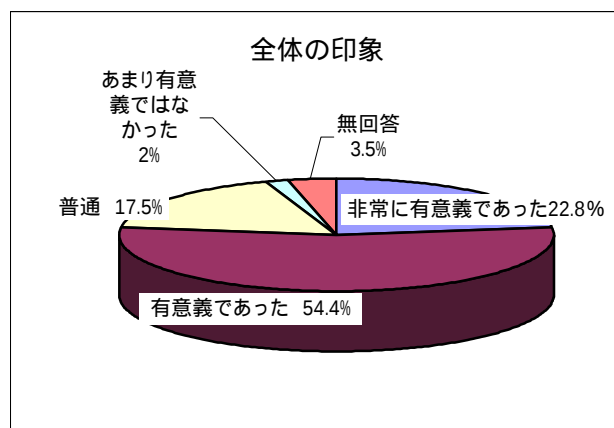
	回答	人数	%
1	10代	38	66.7%
2	20代	16	28.1%
3	30代	1	2%
4	40代以上	2	3.5%
	計	57	100.0%



3. 本フォーラムについて

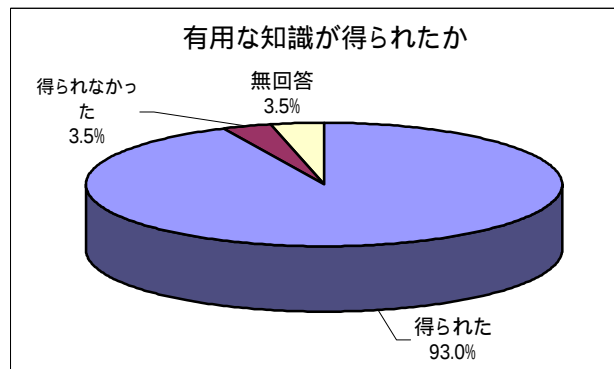
(1) 全体の印象について

	回答	人数	%
1	非常に有意義であった	13	22.8%
2	有意義であった	31	54.4%
3	普通	10	17.5%
4	あまり有意義ではなかった	1	2%
5	全く有意義ではなかった	0	0.0%
6	無回答	2	3.5%
	計	57	100.0%



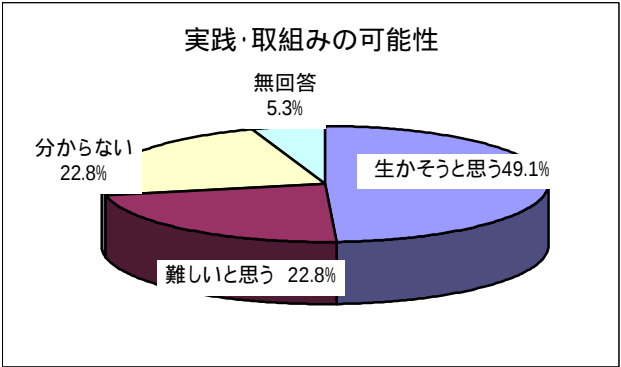
(2) 本フォーラムで有用な知識が得られましたか？

	回答	人数	%
1	得られた	53	93.0%
2	得られなかった	2	3.5%
3	無回答	2	3.5%
	計	57	100.0%



(3)(2)で有用な知識が得られたとお答えの方へ、
本講演で得られた知識を今後の仕事や地域での活動などに生かそうと思いますか？

	回答	人数	%
1	生かそうと思う	28	49.1%
2	難しいと思う	13	22.8%
3	分からない	13	22.8%
4	無回答	3	5.3%
	計	57	100.0%



4. 犯罪被害者等について

(1)犯罪被害者の現状についてどう思いますか？

回答

- ・被害者はすごく精神的被害を受けていると思う。それは、経験したことのない私たちには分からないものだった。
- ・被害者になった時から、それまでの生活とは全く異なる心理状況、環境になってしまうのだと改めて感じた。自分が突然、何かの犯罪に巻き込まれた場合、家族や友人以外の第三者に頼ることができるだろうかと考えた。
- ・テレビや新聞などの情報だけでは知ることがない犯罪被害者の現状を知ることができました。私は被害者に要因があるとは考えたこともなかったので、そういうことを考える人がいるということを聞き、驚きました。理解したくてもその現状を知る術がないのも現実だと思います。
- ・昔に比べれば、とても良くなったと思いました。色々な環境が整ってきているのだと感じました。
- ・精神的ショックを少しでも早くなくすような体制をとるべきだなと感じた。
- ・今はまだ被害者がきちんと守られている段階でないと思う。守られるべき人に適切な支援をしていける地域にするためにも、今日は話をきけてよかったです。
- ・いつも客観的にしか見ることができないけれど、犯罪被害者を守れるような社会的な仕組みは全然出来ていないのだと思いました。
- ・減っているようで減っていないと思います。今の現状改善していくのは難しい。今ではプライバシーとかいろいろな権利があるから大変。
- ・犯罪の被害にあっただけでも辛いのに、さらに被害にあった後の世間からの目を気にしなければならないのは本当に辛いことだと思います。
- ・事件から5時間がたっても、被害者のストレスなどは続いていて、それを解決することはすごく難しいことだと思った。
- ・被害者の現状が表面にでてくることが、ほんの一部にすぎなく、(表面にでたくないというかたもありますが)被害者の思いを支えるという意識が育つ場がないと思う。犯罪発生＝加害者のことに重点が置かれすぎているように思う。
- ・現在では法律や警察、その関係機関と連携をとって被害者の心のケアを行ったり、守ったりしているが、事件によって生じた被害者の心の傷はなかなか癒えないのが現状ということで、国がしっかりと守る必要があると思う。
- ・難しいと思う。犯罪被害者の家族なども大変なんだなと思った。
- ・裁判で判決を受けてもそれまでの失った時間や社会的立場を取り返すことは難しいと思った。今年度に交際していた20代くらいの男女が40代くらいの男性を地下鉄乗車中にセクハラで訴えて、無罪なのに拷問を受けていたニュースがあり、印象が強かった。
- ・毎日のように人が人を殺す犯罪が行っているというニュースをテレビで見て、怖いなあと思う。最近は、親に怒られてイライラしてて、誰でもいいから殺したかったという人が多くて、いつ何がおこるのかわからないと思う。被害者の遺族や加害者の遺族もこれからの生活が大変だと思う。犯罪がおこらない、平和な生活が送れる日本になってほしいです。
- ・まさか自分が被害者になることなど全く考えずに生活をしていたら突発的に被害を受けた時の身体のみならず心に傷を負ったキズの深さは多大なものであり、簡単にぬぐえるものではないので長い時間と人員を使い、そういった人達をずっとサポートし少しでも気持ちが楽になるようなシステムが社会全体に拡大していけばいいと思う。
- ・被害者、弱者ばかりが我慢を強いられる不平等な現状だと思う。
- ・犯罪被害者本人も被害者の家族も、深い苦しみを受け続けると思う。
- ・犯罪被害者等基本法までできたばかりということもあり、まだまだ未熟なところもあるのかなと思う。
- ・主張でもない状況にはいきどおりを感じているのだと思う。被害者が、被害者をさらしものにし、ましてや悲しみにくれている時に、被害者たちを避難したりする社会に問題があると思う。
- ・私自身、被害者になった事がないから、どうしても他人の事って思ってしまう。だから、犯罪が起きてニュースになってその時はとても被害者の事がかわいそうって思うけど、時間が経てば、その気持ちを忘れてしまって、そのうちに事件のことも忘れていってしまいます。被害者は精神的にはもう元に戻らない事を知った。人の気持ちはわからないけど、理解していくことも大切なんだと感じました。

回答

- ・被害者支援という被害者にとって助けとなる支援があり良いと思いました。しかし、そういう人は心の傷はなかなか消せないもので、また周りの人には言えず、周りの目も気になって苦しい生活をしいられているのだと感じました。
- ・あまりよくないのではないかと思うし、まだまだ犯罪被害者支援は改善されなければいけないと感じた。
- ・まだまだ被害者の遺族の方たちの納得いく判決がくだされていないと思う。被害にあった方、遺族の方たちが受けたショックはとて大きいと思うので、今の現状よりも、もっと良くなれば良いと思います。
- ・私は被害者になったことはありませんが、被害者の気持ちが少しだけわかったような気がします。犯罪被害者は年々増えていくばかりで、大きな傷を負った人たちが今よりもっと増えていっているのが現状だと思います。
- ・どうしても理解できない事の1つにマスコミでの顔写真の公開がある。加害者は写真がでないのになぜか被害者の写真が出る。これにより、見ている我々は、被害者とその遺族にじっと苦しみし耐え、事件を受け入れるのが望ましいという理想を押し付け、それに反する一部の被害者・遺族(運動を起こす人、本村さんのような)が当然の事をしているにもかかわらず、攻撃を受けることになる。
- ・もっと守ってあげなくちゃなと思いました。
- ・加害者側の一方的な不可思議な言動から、悪質な事件が目覚しく増えていると感じます。その一方で、被害者の方の苦しみというのはあまり報道されてませんが、加害者の何倍もの被害者がいるということを忘れてはならないと思います。
- ・なんか野放しになっているような気がする。心の傷がなかなか治らないことがわかっているはずなのに。
- ・自分が犯罪被害者であることを主張できず、黙って我慢していることについて誰かに話を聞いてほしいというアンケートの答えが多かったように新聞や報道だけで事件を終わらせるだけでなく、周りの人の協力が必要だと思った。
- ・被害者は、巻き込まれる事件が残酷なものが年々多くなっている気がする。例えば、今年に発生した事件では、アキハバラの通り魔殺人事件など、無差別殺人が増加していると思う。事件は、残酷になる程、残された被害者は、精神的にツライと思うので、精神的にかなりおいこまれている被害者は多いと思う。
- ・旭川は被害者支援に対して進んだ街であると安藤さんはおっしゃっていたのでよかったです。
- ・犯罪被害者の方にどうしても目を向けられがちですが、被疑者の方の事も考えた方が良いと思う。
- ・犯罪に巻き込まれてしまった人だけではなく、その親族もとても深い心の傷を負ってしまいます。事件後の周囲の人々の現状というのは、上司や同僚・団体の支援を求めているけど、なかなか相談しにくい、言いづらいと思っている被害者の人々が多く存在しているのと、経済的な面や医療・福祉サービス、刑事サービス手続きに不満をもっているのも現実なのでこれらの人々のその後の対応をどのようにしていけばよいのかということがとても重要なのだと思いました。
- ・被害者支援は、もっともっと行われていけばいいと思います。
- ・かわいそうでどう自立して、社会に戻るのか心配。
- ・加害者の保障はいくつかあるのに被害者の保障が少ないというのはおかしいと思う。加害者より被害者に気を配るべきだと思う。自分が被害者(の遺族)だと認めたくない気持ちもよくわかりますが、本来の生活を取り戻すためにも色々な保障を設けて、受けて、回復してほしいと思う。
- ・JRの事故のあと、3年後に自殺したり、やはり心の傷の深さがよくわかりました。被害者の支援を強化すべきと思った。
- ・事件があると加害者の方ばかり目立って被害者は忘れられている。私自身そういうところがある。被害者の気持ちは本人にしかわからないけれど、加害者の方ばかり気にかけて、被害者の方には何も支援がないのはおかしいと思う。
- ・どんなに明るくふるまっても、心の傷は隠しつつけて、被害者にしかわからない苦しみがあって、明るく生きていけないのは、苦しいだろうなと思った。
- ・治療費を自ら支払わなければならないということに驚いた。精神的にだけでなく、経済的にもダメージが大きい。誰かに話を聞いてほしいだけでも、周りの理解度が低く風当たりが強いことは残念だと思った。孤独というか。なにが彼らの心の寄り所になれるのかなって考えた。
- ・増えていく現状で、辛い現状にあると思う。
- ・心の傷を誰にも言えずに苦しんでいる人がたくさんいるのかなと思います。・被害者の権利などへの取り組みは以前に比べてとてもよくなってきているが、被害者が自分が被害者であることを主張できるようになったとは言えないと思う。また、被害者へのケアはもしケガや障害が残ったとしたら、私達も大きく関係してくるため、今回の講義はとても意義のあるものでした。

回答

- ・犯罪被害者がその後の支援について、たくさんの不満はかかえているということがわかった。
- ・被害者の人権を守る法が最近までなかったことに驚いた。加害者だけが取り上げられ、一番辛い思いを抱えている被害者の心情がおいでいかれることを感じた。
- ・私たちの住んでいる永山も多いと聞いたことがある。
- ・私には警察官の先輩2人います。彼らは札幌で働いているのですが、性犯罪の話聞いたことがあり、とても酷いものでした。今まで被害者の声というものをあまり聞いたことがなかったし、考えもしませんでした。レイプなどの被害では、一次被害と二次被害があることを知り、レイプは盗みよりも刑が軽いということを聞いた時は愕然としました。犯罪被害者を守る規則や法律がもっと増えて、生きやすい世の中になってほしいと思う。
- ・犯罪被害者が多くなっているのに、被害者を支える環境が少ないと感じた。
- ・犯罪被害者の自殺については、いたたまれないなと思いました。被害者の精神的な苦痛というのは私の想像以上のものであり、実際に自分が被害者になってみなければわからないことであると思いました。
- ・もっと国には支援してほしい。そして一刻も早く受けた傷をいやしてほしい。特に医療サービスに関する支援は国がすべきではないだろうから、特にヒドイ事になってしまったのだから、せめて、元に戻すように協力をすべき。
- ・少年犯罪の被害者のことで、TV番組での特集をよくみた。また、神戸のじゅんくん殺人事件の少年Aのことも、新聞、雑誌で読んだことがある。今は少年Aは28～30才ぐらいでふつうに生活をしている再犯しないかどうかかわからない。でもざんこくな殺人をしていて、ふつうに生活をしていることは許されるかどうか…。でも他方で大昔の永山則夫の連続殺人事件で死刑になった人のことを本で読んだ。永山則夫のひさんな生活、愛情のなかった幼い生活の中での結果であった様だ。いろんなケースがある。犯罪者が、被害者であった場合もある。とても難しいことなので、私はいろんな感情がゆれうごいている。
- ・被害者にとって、心の傷は深く、さらにこれまでの生活の営みががらりと一変してしまう。さらに、社会から忘れられ、精神的に立ち直ったと見られがちである。これについて、僕は、被害者の心理は、簡単に理解できるものではなく、想像を生かしても、その断片しか理解できないのではと思った。
- ・最近では殺人事件が増えてきていて、その被害にあってしまった人たちは、とても深刻な精神状態にあると思います。

(2) (1) に対して、どのようにすればよいと思いますか？

回答

- ・精神的ショックをこれ以上受けないなら、まわりが気をつけていかなければならないと思いました。
- ・被害者になった場合に、誰でも頼ることのできる機関がもっと増え、周知されるべきだと感じた。
- ・今日のような講演を聞くチャンスをもっと増やして理解を深めてもらえるようにすればいいと思います。
- ・これから、もっともっと環境が整っていくようになればいいと思います。被害者の人の気持ちは、被害者にしかわからないけど、そうでない人も少しでも理解することが出来ればと思います。
- ・今の時点ではよくわかりません。
- ・地域住民も、もっと犯罪に関心を持ち、被害者のことを理解する。
- ・一人一人の考えをあらためて、社会的にも地域的にも被害者が自立しやすいような環境を作ることが大切だと思いました。
- ・今は難しいけど誰でも気軽に相談できる場所を市町村であったらいいと思う。
- ・世の中の人々がもっと被害者の苦しみや現状について知ることがよいと思います。
- ・一般的に生活をしていて、犯罪被害者を支える仕組みがあまりにも浸透していないと思う。今日の社会ではいつ誰が犯罪に巻き込まれるかわからないのだから、広く社会に一般的な知識として、周知する必要があるのでは？(それにはパンフレットなどでは薄いのでは？)様々な講演などを含め、一部の人が知っていれば良いのでは？ということではなく、皆が社会全体が知る必要があると思う。
- ・講義でおっしゃっていた通り、もっと他の関連機関と連携をとっていく必要があると思った。
- ・裁判の判決はなぜ時間がかかるのか？短時間で判決はでないのか？
- ・誰もが、安心した生活が送れるためにはまわりの人のサポートが必要だと思う。犯罪をする人は、何かと悩んだりすると思うから話をきいてくれる人が必要。
- ・社会全体で被害者を支え、痛みや苦しみを分かち合える場を設けたらいいと思う。例えば各市町村単位で1つ、気軽に尋ねられる雰囲気ならばいいと思った。
- ・一番良いのは、犯罪自体がなくなることだと思うが、もし、犯罪が行ってしまって、被害者が苦しみを受けた場合は、講義の中でも言っていたように周りの人々が協力しあい、助けあい、話しあってその苦しみを少しずつ取り除いていったらいいのではないかと思います。
- ・被害者の声などがもっと聞ければよいと思う。
- ・どうしようもない。
- ・一人一人が被害者もいるということを理解する。あと地域の連携もとても重要だと思った。旭川も早くちゃんとできたらいいのに。被害者の気持ちも理解する事は大切だけど、遺族の人々の気持ちも理解することが必要なと感じた。
- ・やはり周りの人や他人の人でもその人のこと理解してあげ、被害者の人が周りの目を気にしないで、生活できるような環境を作ってあげたらいいと思うがなかなか難しいと思いました。
- ・国や政府がどうかしなければいけないのではないかな。
- ・今日のような講演会をたくさん行っていけばいいと思います。
- ・加害者、被害者、両方の写真を公開する、又は両方の写真を公開しない。被害者・遺族の救済運動、判決の不満を訴える運動がおこるのは、法や制度に不備があるからだということを周知することが必要だと思う。
- ・これから考えたいです。
- ・旭川にも家庭生活カウンセリングクラブというような簡単な相談所が設置されるわけですが、今の現状からして犯罪が増えていく一方でこのような精神的なカウンセリングが少ないような感じがするので、今より相談所を増やしたり、その中で充実した制度を取り入れていって、犯罪被害者が相談しやすいような体制をつくっていくべきだと思います。
- ・心の中で深い悩みを抱えた人が、犯罪者となる前に心の内を話すことのできる場をもっと充実させることが必要ではないでしょうか。
- ・積極的に被害者の会をアピールし、同じ傷をおった者どうして、気持ちを共有したり、精神的なケア(臨床心理士)などをたくさん集めて、被害者がいつでも相談できるようにしたらいいと思う。(簡単に言えば、マンツーマンみたいな感じで)(心理士の方が何人もの人を受け持つのではなくということ)
- ・地域の人々の理解を求め、カウンセリング団体を地域に置き、心のケアをすることが良いと思う。また、被害者の会などを開き、同じよう状況に置かれている人とのつながりを大切にし、「自分は1人ではない」というような、気持ちをもつことが良いと思う。
- ・安藤さんに相談したいと思います。
- ・警察が被疑者の方にも耳を傾ける。

回答

- ・まず加害者の心のカウンセリングを最初に行えば、かなり事件は減少できると思う。加害者が加害をする以前にその人の異常に気づければ…。それに気づいてあげられるのは家族や地域住民である。そして、被害者に対して一番大切な事はカウンセリングであるだろう。
- ・やはりその後どのようなケアが必要になってくるか人それぞれだと思います。
- ・多くの人に現状を知ってもらえればいいと思います。
- ・犯罪をなくするのが一番だと思います。
- ・被害者を保護・援助するための法を考えたら良いと思う。無駄に道路を作ったりする分の経費をそっちに回しても良いんじゃないかと思う。(地域としての取り組みも含む)。保障をするだけでなく、いつでも話をしたり聞いてくれたりする機関をしっかりと作れば被害者の気持ちも変わるのではないのでしょうか。
- ・まずは誤解をとく。被害者の本当の姿を人々に伝えることが大切だと思う。状況を伝えるためには、被害者も黙っているのではなく、発信していくことが大切。被害者を支援する制度が必要。
- ・問題をしっかりと解決することで少しは気持ちが楽になるのではないかと思った。その後に、周りの人にサポートしてもらいながら生活していけば、すべては無理だと思うが、少しは緩和していくのではないかと思った。
- ・給付金があると言っていたけれど、もう少し全体的にサポートしていかなければならないと思う。まず、犯罪が減らないといけなけれど、病院代だけでも無料になれば変わるかなと思った。ボランティア団体の方が気軽に相談できるかもしれないけど、もう少しお金のある企業とか団体でくればよいと感じました。
- ・被害者支援があることを、もっと社会に発信していくことや、被害者の知人に力を借りることかなと思います。
- ・社会背景が大きく影響しているし、地域単位など被害者に近いところが、被害者が主張しやすい社会を作らなければならない。被害者になってしまった後の支援がより良くなっていくとともにそういう社会づくりもしていかなければ意味がないであろうと思う。
- ・犯罪被害者へのその後の継続したアフターケアが必要であり、大切でもあった。
- ・難しい問題。被害者支援の活動を広め、多くの方々に理解をしてもらうことが必要だと思う。
- ・それはわかりません。
- ・被害者支援の場を設ける(もっと身近なものにする)
- ・すこし人務的な支援が多いので被害者の精神的なケアをもっと活発にしていってほしいと思います。専門的な団体と被害者支援の団体が連携を強めていってほしいと思いました。
- ・国がもっと支援や新しい政策を作る。また、色々な組織の協力関係が増えていく事。
- ・被害者支援について、都道府県が生活保障、アフターケアをしていくと思う。被害者へのフォローはまだまだ不十分であるということをよく聞く。講演会ばかりではなく、被害者の精神的・社会的に立ち直ることへのフォロー被害者の社会への就職保障もしっかりしていくフォローもしていってほしい。
- ・被害者の経済的支援は不十分であり、経済的支援の充実をするとともに、被害者のケアを特に精神的ケアを持続させる支援が必要だと思った。さらに、今後被害者と加害者を出さないためにも、地域ぐるみの連携が必要だと思いました。
- ・確かに被害者を支援する体制が不足していると思います。だから被害者を支援する体制を増やすべきだと思います。しかし、実際に被害にあってしまった人を支援するのはとても難しいものだと思います。被害にあってしまった人の精神状態はとても不安定なので、理解するのは不可能だと思います。

(3) 今後も同様な講演会を開催した方がよいと思いますか？

回答

- ・思う(回答複数)
- ・思う。誰にでも起こりうることなので、現状を知るべきだと思う。
- ・開催した方がよいと思います。
- ・被害者の人のことを知ることでできる良い機会だと思うので開催した方がよいと思います。
- ・した方がよいと思います。
- ・被害者の現状を知ってもらいたい機会だと思います。
- ・あってもいいと思います。あんまり補償はさけてほしい。
- ・被害者の苦しみを知らずとも開いた方がよいと思いました。
- ・開いた方がよいと思います。知らないでいるよりはよいと思うので。
- ・開催していただければぜひ行きたい。
- ・あまりくわしくはわからなかった。むずかしかった。
- ・今後にも生かせると思うから必要だと思う。
- ・年に一度は開催していただければと思いました。社会人になってからもう一度ききたい。
- ・犯罪被害者の現状や遺族の心情を理解するため、犯罪を少しでもなくすためにも、このような講演会を多くに行っていてほしいと思う。
- ・良いとは思いますが、被害者の声をもっと聞かせてほしいと思う。
- ・被害者支援があるなんて知らなかった。もっと広くいろんな人に知ってもらいたいと思います。なのでした方がよいと思います。私は、この講義を聞いて被害者や遺族にこういう制度があるのを知ったので、わからない人もいっぱいいると思うのでいいと思います。
- ・被害者のためにも開催した方がよいと思いました。
- ・警察での犯罪被害者支援や国での補償制度は、あまり知られていないと思うので開催した方がよいと思う。
- ・今回の講演会によって、犯罪被害者を誰が、どのように、支援していくのか？という問いに対して答えが見つかりました。第3条の基本理念にそって、実行することが大切であることがわかりました。講演会を聞いたことによって今の犯罪被害者支援の体制を理解することができました。
- ・開催した方がよいと思う。被害者の方がどうなっているのかということをTVでは報道してくれない(プライバシーの問題もあるのかもしれませんが)(虐待された人のその後か)そして、犯罪について改めて考えることができる。被害者になった時このような知識があるだけで全然大丈夫だと思うし、心強い。
- ・はい。また開催してほしいです。
- ・正直言って、私は今まで被害者支援を警察がおこなっているとは知らなかったし、テレビや新聞などの報道で事件が解決すれば、全てが終わると思っていた。実際このような考えを持っている人は沢山いると思う。被害者支援の本当の働きを知らずとも、被害者に対しての支援者も増加し、被害者のカウンセリングにもなると思うので、今後も今日のような講演会を開催した方がよいと思う。
- ・良いと思います。巧妙な手口の犯罪が増えているので被害者を減らす事、また被害にあったとしても、いろいろなケアを行う所があるという事を知る事できたので。
- ・被害者の権利を知ることが、大切なことだと思うのであった方がよいとおもう。
- ・犯罪被害者の現状がどのようになっているのかももっと知ることは必要だと思うので、是非開催すべきだと思います。
- ・はい。多くの人に現状を知ってもらうことが大切です。(2名)
- ・参考になるので行ってほしいです。
- ・あれば行けるだけ行きたいです。
- ・広く市民にも伝えるといいと思う。
- ・開催した方がよい。本当のことを知らせるべき。
- ・こういうことを知っていれば、少しだろうけど、犯罪が減ると思うので、このような講演会を開催していった方がよいと思う。
- ・このように講義の場でやってもらったり、無料だったらどんどん参加する人は増えていると思うし、理解してくれる人も増えてくると思う。有料だと特に若者だったり、あまり関心がない人は参加意欲がわかないと思うから。
- ・もっとみんなに伝えていてほしいと思う。

回答
・思います。私自身、被害者支援についてよく知らなかったなので、とてもためになるお話でした。ありがとうございます。 ・開催した方がよいと思う。そうすることで被害者支援への理解が広まると思う。 ・よいと思います。被害者の苦しみを始めて知ることができた。 ・講演会を開催して、今後も色々とお話を聞かせてほしい。 ・はい。知らない人がたくさんいると思うので。

5. その他のご意見、ご感想について、下覧にご自由にお書きください

回答

- ・犯罪がおきた時はテレビなどの報道で毎日のように情報が流れるが、時がたつと何もなかったようになってしまいか、また新たな犯罪に意識が向いてしまう。しかし、被害者の方たちの人生は、その日から命が終わるまでずっと続いており、社会的なサポートが継続的にあるべきだと改めて考えた。
- ・犯罪があれば必ず被害を受ける人がいるので、本当に犯罪というものはひどいなと感じました。被害者がどれほど大きなショックかというものは本人になってみないとわからないから、被害者支援はとても大変なものだと思う。
- ・今まで知らなかった法律の話や、現状などが聞けたので、本当に良かったです。ありがとうございました。
- ・今まで知らなかったことをいろいろ聴けていい体験になりました。被害者本人の声を聞くことで私達にはわからなかった苦しみや悲しみを感じることができたと思います。
- ・よくわかりやすく良かったです。本村さんは本当にすごいと思いました。でも基礎があんまりないのでわからない所もある。
- ・私のまわりに犯罪被害者がいないので被害者の苦しみについて考えたことはありませんでしたが、これから考えていきたいと思いました。
- ・犯罪被害者に対する支援の取り組みなど知ることができましたが、他機関とのネットワークが現段階でどのようになっているかももう少し詳しく知りたかったです。市町村の取り組みとしていましたが、もう少し社会全体のレベルとして考えて良いのではと思いました。
- ・自分は、犯罪被害者となったことも、その遺族にもなったことがないが、自分がもしその立場だったら、痛まれない気持ちになると同時に、自分に被害者を与えた、または家族の被害を与えた人を許せないと思った。
- ・生かせる内容だったので良かったです。
- ・貴重な機会とお話をありがとうございました。
- ・今回、犯罪被害者の現状の講義を聞き、今まで知ることがなかった犯罪の様々なことがわかり、良かったと思います。
- ・制度や法律はあまり好きじゃないというか、苦手ではあるがあまり理解できないじゃないかと思っていたんですけど、分かりやすかったし、このような支援、制度があるということを理解できて良かったです。
- ・今日は貴重なお話をありがとうございました。今後もこのような機会があったらぜひ聞きたいと思います。
- ・講演会を開いていただきありがとうございました。このような機会がなければ、あまり話をきかないので、お話を聞けて本当に良かったと思いました。
- ・パワーポイントを使用するならそれを印刷して配布してほしいかったです。ありがとうございました。
- ・いっぱい話をきけて良かったです。
- ・今回の講演会を聴けて良かったと思います。紙にたとえた被害者の気持ちはとても辛く、経済的には回復したとしても大きな傷は残るという気持ちが私の方まで伝わってきました。被害者に対しての必要な支援は、病気になった患者さんの気持ちとかぶる部分があり、とても身近に感じられました。有用な知識を得られて良かったです。ありがとうございました。
- ・旭川の犯罪被害者に対する支援が進んでいるということは知りませんでした。もっと人々が利用しやすくなるといいと思います。パワーポイントがカラフルで見やすかったです。
- ・もう少し、事例などをもとにして、講義した方がいいと思います。そこに、このような権利、支援などがあるという説明をいれた方が伝わると思います。(人々のどのような協力があつたのかなど。心の痛みとか)(被害者の心の傷を紙をくしゃくしゃにしてのばしたのを例にしたのは、スゴくわかりやすかったです。)権利、支援などは、プリントにして配布してくれればうれしいのですが。ためになりました。また来て講義してください。
- ・普段ニュースや新聞、などしか情報が流れてこない一般市民は被害者支援の取り組みについて知られていないと思う。もし、自分が被害者になってしまったらどうしたら良いのかわからないと思う。なので、こういう講義で被害者の心のキズの深さ、被害者の対応を知って、これから自分も含め、周囲の人が被害者になった時にこの講義を活かしていけたらと思った。ありがとうございました。
- ・今日の臨時講演は新しい事を沢山学習できて満足している。しかし、今日の講義で知られたもので、今後の仕事や地域での活動を生かすことは難しいと思う。なぜなら、被害者支援は幅広い知識が必要であるからだ。だが、今日の講義は私の好きな内容で面白かった。だから、今日の講義をスタートと考えて、これからの先被害者の権利、被害者支援を学習していきたいと思った。
- ・明日被害者になるかもしれません。ならないように気をつけていきます。

回答

- ・講義を聞こうとしても、写真のシャッター音や足音等で気がちって、真面目に聞けませんでした。やめてほしかったです。
- ・これからも、このような講演などの活動を頑張ってほしいです。
- ・被害者の心の傷はなおらないことを知った。カウンセリングをしても完全になおらないことを知り、複雑な気持ちになった。
- ・民間団体のボランティア活動だけでなく、もっと支援する人の身分をしっかりとした機関が必要だと思います。
- ・外部講師の方ということで、いつもの講義とちがって新鮮でした。犯罪や被害者という言葉からはマイナスのイメージを受けてひいてしまいましたが、被害者に罪はないのに、人生を棒に振るわされてしまうのはいけないと思う。イメージ云々でなく、被害者の方々ができるだけ早く元の生活に戻れるよう助けることが大切だと感じました。保障だけでなく、ただ話を聞いてあげることも大切なのだなと思いました。
- ・具体例が多いともっとわかりやすい。
- ・犯罪というのは、加害者もその家族もボロボロだし、被害者もボロボロで、おきないようにするのが一番だと思った。事件がおきてからどちらも元の生活を取り戻せないし、何もかも変わらと思う。おこらないようにするには、支えあうことが大切だと思った。そのための理解が今日できてよかった。
- ・永山の犯罪防止への取り組みがかなり進んでいるとあって驚いた。知らないこともたくさん聞くことが出来たので、とてもためになった。地域支援など少し調べてみたいと思った。
- ・全国の話道を市内の事件にむすびつけてお話してくれたので、あの事件のことかっすぐ頭に浮かんだ。本村さんみたいに公で活動している人は変わり者みたいに思われちゃうところもあるから世の中のイメージを変えないと良くなっていくのは難しいなと思った。
- ・旭川が、被害者支援制度の進んでいる街だと知り、びっくりしました。また、看護師の立場からどのように被害者支援制度に関わっていけばいいのかなと思いました。
- ・とても興味深い内容でした。それと同時に「被害者になってみなければキモチはわからない」という言葉が、すごくひびいた。看護師も患者の気持ちは患者になってみなければわからないということと同様だと思った。だけれど、患者のキモチを考えられる努力はしたいし、近づきたいと私は思っている。また、カウンセリングの大切さもわかった。カウンセリングできる看護師も必要であると思った。
- ・被害者というのは、いつ自分の身に起こるかもしれないことであると、今日改めて実感しました。被害者の心のキズは紙のぐちゃぐちゃにして、紙をのばした状態のように一回できたしわは消えることはなく一生背負っていくことであるのだと思いました。こういった被害者も加害者も出さない地域社会づくりとしては、今後の課題というのは、非常に難しいことばかりで、とても考えさせられることがたくさんありました。
- ・被害者の傷は、非常に治りにくい。だからこそ、もっと充実したケアが必要で、様々なバックアップが重要である事がよくわかった。連携をもって強くし、スキができない事が大切であると思う。
- ・今回の講演会では、被害者の支援の取り組みが聞けてよかったと思いました。普段、あまりニュースや新聞には取りあげられない、被害者のこれからをどうするか？という所が開けてとてもよかったです。
- ・今回の講義を聞いて、とても勉強になりました。特に、実際にあってしまわないと、人間はわからないということに気付かされた点です。